

立憲民主えびな

賛成

○全会計の決算に賛成

令和6年度は世界的な物価高騰が続く、市民生活や事業活動にも影響が及んだ厳しい状況下でした。そのような中でも、市が生活を守る施策を幅広く展開したことは市民にとって大きな安心につながったのではないかと思います。

ゼロカーボンシティ実現に向け、再エネ導入や公共施設の省エネ化を進めたことは市民に誇れる挑戦で、大きく評価できます。さらなる協働につなげるためには、CO₂削減量などの具体的な指標を示していくことが不可欠です。

市民の健康に直結する課題であるPFAS（有機フッ素化合物）の調査を進めた点を評価しますが、調査結果を分かりやすく公表する仕組みは不十分です。迅速な追加調査体制を整え、市民の不安を払拭する努力の継続が肝要です。市民の移動を支えるデマンド型交通やユーバスの拡充などを評価します。利用実態の調査と検証を重ね、市民の声を反映した持続可能な運行体制の確立をお願いします。

教材費無償化や中学校完全給食が実現し、保護者負担が軽減されたことを評価します。財政全体との調和を図りながら安定的な制度運営をお願いします。

住宅耐震化の補助拡充や消防署南分署整備は市民の安心につながるものと考えます。冠水被害への備えなど、必要な防災・減災対策への取り組みを引き続きお願いします。

財政健全化法の健全性の維持は誇るべき成果ですが、経常収支比率の上昇で新事業への柔軟な対応が難しくなることが懸念されます。事業の優先順位付けと基金・市債のバランス管理の一層の徹底が求められていると感じています。

成果と課題を踏まえ、次の政策へ結びつけていくことが市民の命と暮らしを守ることに繋がると確信しています。



You Bus(ユーバス)

市政に関する一般質問の概要

9月12日、16日、17日に議員17名が市の考えをたどしました。主な質問、答弁の要旨を紹介します。

一般質問では、市議会議員が市長などの執行機関に対して、海老名市の行政事務全般にわたってその執行状況や今後の方針などについて説明を求め、議員の考えを表明するなど、よりよい市政を目指してさまざまな議論が行われています。

今回は、教育や福祉、まちづくりの分野をはじめ市民に身近な問題を中心に、44項目の一般質問がありました。詳しい内容は会議録でご確認ください。

会議録は市役所1階の情報公開コーナー、中央図書館・有馬図書館でご覧いただけるほか、インターネット上で公開しています。

<会議録の閲覧・検索> 市のホームページから「海老名市議会」→「会議録検索」

また、一般質問をはじめ、本会議の様子はインターネットで録画配信しています（これは海老名市議会の公式記録ではありません）。

<本会議の録画配信> 市のホームページまたは市議会のホームページから「本会議中継」→「本会議録画配信」

一般質問の録画配信はこちらから▶



産前産後のケア事業及びヘルパー派遣事業について
政進会 宇田川 希

問 近年、出産後に頼れる家族が近くにいない家庭やワンオペ育児を担う家庭が少なくなく、孤立した子育てが課題の一つとなっています。産前産後の切れ目のない支援は、母子の健康維持だけでなく、産後うつや虐待防止の観点からも非常に重要です。このようなことから国では令和元年の法改正により産後ケア事業を法定化し、多くの自治体で取り組みが進められています。そこで市で実施している産前産後ケア事業に関する取り組みを伺います。

答（市長） 産後ケア事業は退院後の母子の心身のケアや育児のサポートなどきめ細やかな支援を行い、安心して子育てができる支援体制を確保することが目的です。母子保健法の改正により市の努力義務と規定されており、令和4年度より段階的に実施しています。

答（保健福祉部長） 産前には妊婦健康診査などの公費負担のほか、妊娠時などにアンケートを行い妊婦の心身の状況を把握し、助産師などが相談支援を展開しています。産後については令和4年度から試行的に通所型の支援、令和5年度からは訪問型の支援、そして令和6年度から医療施設への通所型や宿泊型の支援をそれぞれ開始しました。

問 家事や育児の実務を支援する産前産後ヘルパー派遣事業を導入し、市の産後ケア事業と組み合わせる切れ目のない支援体制を構築していく考えはあるのか伺います。

答（保健福祉部長） 市では産前産後に特に支援が必要な家庭向けの事業を実施しています。日常的に親族の支援を受けることが困難な方の家事を一時的に支援して負担を軽減する、産前産後ヘルパー派遣事業の導入も研究してまいります。

その他の質問

- ・子ども食堂について
- ・弥生橋付近の安全対策について
- ・文化財の活用について

